

## 令和4年度における放課後児童クラブの受入計画

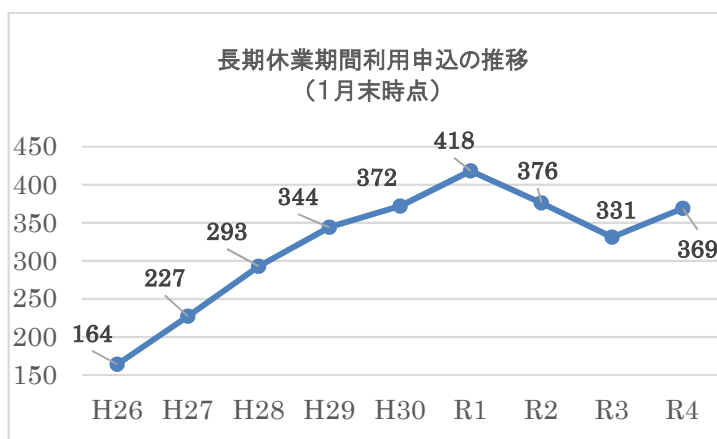
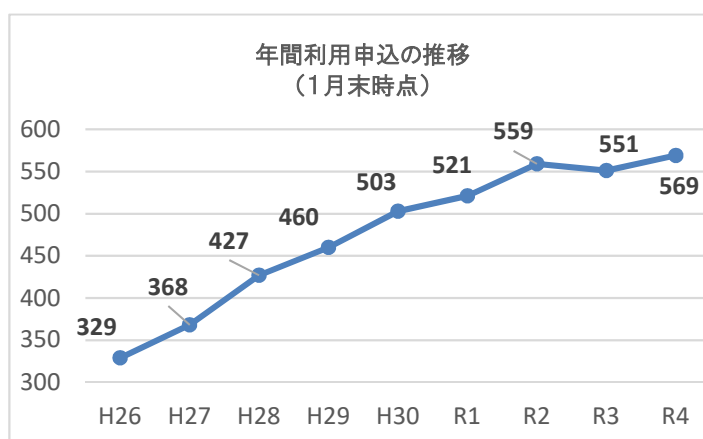
## 1 令和2年度から令和6年度までの放課後児童クラブの量の見込みと提供体制

《第2期米原市子ども・子育て支援事業計画の抜粋 73頁》

[量の見込みと確保方策]

	学年	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
量の見込み【人】	1年生	191	197	209	208	222
	2年生	186	191	195	205	202
	3年生	168	183	189	193	203
	4年生	123	137	149	154	158
	5年生	126	95	105	115	118
	6年生	77	82	61	68	74
	合計	871	885	908	943	977
確保方策【人】	合計	840	850	990	990	990
確保方策【か所】		10	10	11	11	11

## 2 放課後児童クラブ 利用申込者数の推移



- ・ 放課後児童クラブの利用申込者数は、年間利用、長期休業期間利用とも年々増加傾向にあります。
- ・ 令和2年度の長期休業期間利用申込、令和3年度の年間利用・長期休業期間利用申込が減少しているのは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う利用自粛によるものです。

3 令和4年度放課後児童クラブの定員、申込、入会決定状況

放課後の子どもたちの安全で安心な居場所づくりを目指し、放課後留守家庭児童の生活の場として、放課後児童クラブを市内10か所、18支援単位で開設します。

○公設公営および公設民営のクラブ（令和4年1月末現在）

（人）

クラブ名	定員			申込合計			入会決定			一部 入会決定 長期	保留等			待機		
	年間	長期	合計	年間	長期	合計	年間	長期	合計		年間	長期	合計	年間	長期	合計
米原第1児童クラブ（ABC）	120	—	120	111	—	111	108	—	108	—	3	—	3	0	—	0
米原第2児童クラブ（AB）	120	50	170	62	60	122	58	58	116	0	4	2	6	0	0	0
河南児童クラブ	40	0	40	28	17	45	28	12	40	3	0	0	0	0	2	2
坂田第1児童クラブ（AB）	70	70	140	75	68	143	74	64	138	0	1	4	5	0	0	0
坂田第2児童クラブ（AB）	70	25	95	60	33	93	59	30	89	0	1	3	4	0	0	0
息長児童クラブ（AB）	60	10	70	31	44	75	31	40	71	0	0	4	4	0	0	0
大原児童クラブ（AB）	130	0	130	115	35	150	113	14	127	5	2	1	3	0	15	15
山東児童クラブ	50	0	50	33	25	58	31	25	56	0	2	0	2	0	0	0
柏原児童クラブ	40	0	40	15	10	25	15	10	25	0	0	0	0	0	0	0
伊吹児童クラブ（AB）	50	60	110	39	77	116	38	75	113	0	1	2	3	0	0	0
令和4年度合計	750	215	965	569	369	938	555	328	883	8	14	16	30	0	17	17
令和3年度合計	660	180	840	551	331	882	532	283	815	10	7	2	9	12	36	48

※ 一部入会決定 … 長期休業期間のうち一部の休業期間のみ利用できる児童

※ 保留等 … 保護者の就労証明書等が未提出の児童

※ 待機 … 定員超過による待機の児童

- ・ 第2期米原市子ども・子育て支援事業計画に定められた放課後児童クラブの量の見込みと提供体制との比較について（令和4年度）

	令和4年度計画	令和4年度実績
量の見込み【人】	908	938
確保方策【人】	990	965
確保方策【か所】	11	10

- 確保方策【か所】について、計画の11か所に対して実績は10か所となりました。これは、米原市社会福祉協議会が運営していた「近江げんきッズ坂田」の事業終了によるものです。坂田第1児童クラブ「さかっこクラブ」が事業継承していることから、確保方策【人】については影響はありません。
- 確保方策【人】について、計画の990人に対して実績は965人となりました。これは、小学校の児童数減少から定員を減少させたため、受入施設の面積としては計画の990人を確保しています。
- 量の見込み【人】について、計画の908人に対して実績は938人となりました。これは、米原小学校と坂田小学校の児童クラブ申込者数が想定以上に多かったことによるものです。

#### 4 令和4年度の主な放課後児童クラブの受入体制

○米原第1児童クラブ「まいはらっ子クラブ」は、旧米原幼稚園と米原小学校内の専用施設で運営してきましたが、令和4年度からは旧米原幼稚園のみでの運営となります。これに伴い、令和4年度の定員は、令和3年度の170人から120人へと減少しますが、3支援体制を維持して見守り体制の充実を図ります。

○米原第2児童クラブ「あしたばひろば」は、令和4年度から新たに開設する新設クラブです。米原駅周辺の新興住宅地の開発が進み、米原小学校の児童数が増加していることから、令和3年度に運営団体の公募を行い、新たな運営受託者として選定しました。令和3年度に米原小学校グラウンド内に整備した専用施設と「まいはらっ子クラブ」から引き継いだ米原小学校内の専用施設を合わせて運営を開始します。定員は170人です。米原第2児童クラブの開設に伴い、米原小学校区で発生していた年間利用申込に対する待機児童は解消しました。

##### 《 米原第2児童クラブの運営について 》

運営受託者：株式会社明日葉

会社概要： 関東を中心に約410か所で放課後児童クラブを運営。近年西日本地域にも事業拡大し、愛知県、大阪府、広島県、福岡県等で実績あり。滋賀県では米原市が初。

○坂田小学校区では、利用児童数が多い地域となっており、令和3年度に引き続き、専用棟と旧坂田診療所で運営する坂田第1児童クラブ「さかっこクラブ」と近江学びあいステーション内で運営する坂田第2児童クラブ「お家笑里クラブ」の2クラブ体制で運営を行います。

なお、近江学びあいステーションは坂田小学校から遠距離にあり、下校時は支援員が学校からクラブまで引率していますが、多くの利用児童を安全に下校させるため、市公用車による下校ができるよう体制を整えました。

○大原児童クラブ「はらっぱ」は、大原小学校に隣接する専用棟と旧大原幼稚園で開設します。長期期間中の定員に対して長期休業期間利用の申込みが多く待機児童が発生していますが、受入施設の面積等により、これ以上の受入が困難な状況となっています。